

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年12月11日

【評価実施概要】

事業所番号	0173200502		
法人名	特定非営利活動法人 鷹の巣		
事業所名	グループホーム 栞		
所在地	北海道上川郡剣淵町仲町23番2号 (電話) 0165-34-9111		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年12月8日	評価確定日	平成20年12月15日

【情報提供票より】(平成20年11月11日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年3月23日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	12人	常勤	5人, 非常勤 7人, 常勤換算 8.4人

(2) 建物概要

建物構造	木造モルタル	造り
	2階建ての	~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000円	その他の経費(月額)	16,000~21,000円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	350円	昼食	350円
	夕食	350円	おやつ	円
	または1日当たり		1,050円	

(4) 利用者の概要(11月11日現在)

利用者人数	9名	男性	2名	女性	7名
要介護1	1名	要介護2	1名		
要介護3	3名	要介護4	1名		
要介護5	2名	要支援2	1名		
年齢	平均 85歳	最低	67歳	最高	102歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	剣淵町立診療所、剣淵歯科診療所、士別市立病院
---------	------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

消防・防災計画に基づき避難時間や経路の把握、緊急体制連絡網の実質的運用と訓練、緊急時に備えての食料の備蓄、地元住民との協力体制の確立と行政各機関との連携、地域のSOSネットワークの確立など地域に密着した活動を実践している特定非営利法人が運営する1ユニットのグループホームです。また、剣淵高校の福祉授業の講師の受託や研修・実習生の受け入れ、身体障害者のトライアル雇用への協力など社会貢献にも積極的に寄与しています。バリエーションケアの実践では、職員はその手法を活かした取り組みが行われていると共に同業者研修会の指導や相談にも応じて地域のケアサービスの質の向上に寄与しています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、事業所が運営推進会議の内容など文書で行政に報告する取り組みの実践について課題として取り上げていましたが、運営推進会議の内容や緊急連絡網の機能の状況、避難誘導時間、利用者の退避時間、近隣住民との連携など詳細に関係機関に文書で報告されています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価及び外部評価を実施する意義を法人及び管理者、職員は良く理解し、振り返りや再認識の機会としてケアサービスの質の向上に活かされています。また、申し送りや日常業務を通じて、改善の機会や再発防止に取り組まれています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議の議事録は、士別市、剣淵町に報告され、主な議題は事業所の利用状況について SOSやまびこネットワークについて 剣淵高校との交流、講習などについて 地域ケア会議の報告及び協力について 運営推進会議への意見・要望について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族会での話し合いや運営推進会議委員による貴重な助言、忌憚のない意見交換が行われ運営に反映されています。また、日常の暮らしぶりや行事参加の様子など「お便り」を発行して報告をしたり、健康状態の変化の際には都度報告がされています。個別ごとの家族の事情に応じて、不安への対応や相談なども行われています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) ホーム内には、剣淵高校の生徒達が栽培した花が飾られ定期的に交換され、研修の場としてホームの持つ機能を地域に還元する取り組みや「夏祭り」などに参加して地元の人々と交流が行われていたり、災害などの緊急時には、避難経路や避難場所の確保が行われ地域住民、行政機関と連携した取り組みが実践されています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けるサービスとして、本人の権利・尊厳、誇りを守るホーム独自の理念をつくりあげ、管理者・職員間で共有されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念を共有し、その実践に日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホーム内には、剣淵高校の生徒達が栽培した花が飾られ定期的に交換され、研修の場としてホームの持つ機能を地域に還元する取り組みや「夏祭り」などに参加して地元の人々と交流が行われている。		特筆すべき点として、災害などの緊急時には、避難経路や避難場所の確保が行われ地域住民、行政機関と連携した取り組みが実践されている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価を実施する意義を法人及び管理者、職員は良く理解し、振り返りや再認識の機会としてケアサービスの質の向上に活かされている。また、申し送りや日常業務を通じて、改善の機会や再発防止に取り組まれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、2ヶ月毎に定期的実施されている。委員は、家族会、老人クラブ会長、主任児童委員、民生委員、知見を有する委員、法人理事及び管理者・職員で構成され、SOSネットワーク構築など具体的な内容の取り組みが行われている。</p>		<p>特筆すべき点として、運営推進会議の議事録は、士別市及び剣淵町に毎回報告され、助言等を得て連携する取り組みが実践されている。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議の内容や緊急時に備えての取り組みなど日々の活動を通じて関係各機関と具体的な連携が実践されている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>「お便り」を発行して、日常の暮らしぶりや行事参加の様子、金銭管理や健康状態など報告をしています。また、健康状態の変化の際には都度報告がされています。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会での話し合いや運営推進会議委員による貴重な助言、忌憚のない意見交換が行われ運営に反映されている。</p>		<p>特筆すべき点として、バリデーションケアの実践で職員はその手法を活かした取り組みが行われていると共に、同業者研修会の指導や相談にも応じて地域のケアサービスの質の向上に寄与しています。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員のスキルは高く、本人の尊厳を大切にケアサービスを提供しています。また、職員の離職は殆ど皆無で利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるようになっています。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人は、管理者や職員を市町村の講習会、社会福祉協議会やグループホーム協議会などの研修会に段階に応じて研修を受ける機会の確保ができています。また、バリエーションケアの手法の会得やその実践が行われている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の高齢者福祉施設や介護支援専門員などとの交流やグループホーム協議会との交流、相互訪問、研修会の開催など地域を代表するグループホームです。</p>		
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、職員の申し送りの時間もゆったり多くとられ利用者・家族の不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう良く相談しながら工夫している。</p>		<p>特筆すべき点として、家族の信頼も厚く、本人が安心して日常生活を送っている様子がアンケート結果でも証明されている。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員も利用者と一緒に会話を楽しんだり、寂しがりやで不穏になる利用者にはホールの横にベットを置き、他の利用者や職員が良く声かけしながら日常生活を過ごしている様子が伺えた。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向を把握して、手作りの歌詞カードでの歌唱などの趣味への支援や生活歴を考慮した取り組みが行われている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、毎月カンファレンスで評価を行い利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>毎月カンファレンスを実施して、職員全員で介護計画書の見直しと評価を実施し、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		<p>特筆すべき点として、記録が簡素化され家族が見ても一目で生活の様子がわかり、職員の取り組みが理解されやすく会話が増えている。</p>
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、散歩や買い物、通院への支援が柔軟に行われている。また、資格のある職員が理美容など無料で支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>常勤の看護職員が身体状況を常に把握し、協力医療機関や利用者それぞれの主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保され適切な医療が受けられるよう支援されている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化した場合や終末期のあり方について、法人の方針が明確化され職員間で共有されている。また、ターミナルケアが実践され、家族からも良く理解されている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない</p>	<p>一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重した取り組みが行われている。また、総合的なリスク管理やコンプライアンス、行政との連携が取り組まれている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりのペースや思いを大切にして、散歩や畑仕事、食事の準備・後片付け、歌唱やドライブ、行事参加、地域のボランティアの演奏会参加、町営浴場での入浴など本人の希望やペースに沿って支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>和やかな食事風景で、食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、利用者の希望に応じて対応している。また、昇降リフトの設置や状態変化に応じて浴場の改装等行われている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>歌を歌ったり、嚙下体操、ラジオ体操や洗濯物たたみ、掃除、外食やドライブなど外出の機会も多くつくられている。</p>		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>一人ひとりのその日の希望にそって、買い物や散歩、町営温泉、ドライブ、地域の夏祭りやカラオケ大会参加など戸外に出かけられるよう支援している。</p>		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>居室や日中玄関は、鍵をかけないケアを実践している。また、利用者が外出する時は、センサーの設置や設備の工夫と職員が見守り安全面で配慮されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防・防災計画に基づき避難時間や経路の把握、緊急体制連絡網の実質的運用と訓練、緊急時に備えての食料の備蓄、地元住民との協力体制の確立と行政各機関との連携、地域のSOSネットワークの確立など地域に密着した活動を実践している。		特筆すべき点として、行政・消防署に訓練内容の報告が行われ、地域・近隣住民との協力体制もできている。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	具体的な水分・食事摂取量が記録され、栄養バランスや摂取カロリーについてもおおよそ把握され支援されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。また、居間には、剣淵高校の生徒が栽培した赤や白のシクラメンの花が数多く飾られ、定期的に交換されています。寂しがりやで不穏になる利用者には、居間にベットを置き、職員や利用者が良く声を掛けて支援している。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、無料の介護ベットが用意されている。また、仏壇や使い慣れた家具、ソファなどが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。